

奈良県 公立高校の入試制度

【2020年度版】

入試概要

奈良県の公立高校入試には、主に特色選抜と一般選抜があります。特色選抜は専門学科・総合学科・普通科のコースで実施し、一般選抜はそれ以外の普通科などで実施します。いずれの選抜も基本的に定員の100%を募集するため、各学科における入試のチャンスは1回きりと考えておきましょう。各選抜の合格者が定員に満たない場合、特色では一般、一般では二次募集で追加の選抜を行います。

	出願期間	検査日	合格発表
特色選抜	2/13・14	2/20・21	2/27
一般選抜	3/4・5	3/11	3/17
二次募集	3/19	3/24	3/25

出願は基本的に1校1学科のみですが、一部、同一校内で第2志望まで出願可能な場合があります。詳細は各学校の要項で定められていますが、基本的には似た分野について学ぶ学科間で認められています。

調査書

いずれの選抜でも、調査書は重要な資料となります。下記の項目が用いられます。

●学習成績

- ・2年次と3年次(2学期末or12月末まで)の成績が用いられる。
- ・9教科について5段階で評価する。
- ・2年次：3年次 = 1：2 として、合計135点満点。
- ・3年次の成績は、①3年次の総合評価を2倍する、②1学期の成績と2学期の成績を合計する のどちらかの方法で算出。

$$\text{【2年：9教科} \times 5\text{】} + \text{【3年：9教科} \times 5 \times 2\text{倍】} = 135\text{点満点}$$

●特技に関する記録[体育]

- ・一部の学科で利用。

●その他の記載事項

- ・学習活動の記録
- ・特別活動の記録
- ・行動の記録
- ・スポーツ・文化活動等の記録

特色選抜

特色選抜では、学力検査に加えて学校独自検査・面接・実技検査から各校が1つ以上選択して実施します。

- **学力検査**：全ての学科で実施します。国語・数学・英語の3教科、各40点満点です。
- **学校独自検査**：学校が作成した独自問題(学力)や、口頭試問、自己表現に関するものなど。
- **面接**：面接実施校に出願する場合は、出願時に「自己アピール文」を提出します。
それをもとに志望動機や将来の希望、高校生活への抱負などについて聞きます。
- **実技検査**：体育または芸術に関する学科で実施します。

●合否判定

合否判定には次のⅠ～Ⅲの資料を活用します。

- Ⅰ. 調査書の学習成績（+特技に関する記録[体育]）
- Ⅱ. 学力検査+実施した検査の得点
- Ⅲ. 調査書のその他の記載事項

基本的にはⅠ+Ⅱの合計が高い順に合格としますが、各校でⅢのうち重視する項目を決定し、その評価を加えて合格を決定できる枠(合格人数枠)を設けることができます。

※学力検査及び調査書の学習成績は各校で加重配点を行うことができます。

一般選抜

一般選抜は学力検査のみです。特色選抜の追加募集では、学力検査に加えて面接または実技を実施します。

- **学力検査**：一般選抜では、国語・社会・数学・理科・英語の5教科、各50点満点です。
特色の追加募集では、国語・数学・英語の3教科、各50点満点です。
- **面接**：特色の追加募集で実施する場合があります。出願時に「自己アピール文」を提出。
- **実技検査**：特色の追加募集で実施する場合があります。

●合否判定

合否判定には次のⅠ～Ⅲの資料を活用します。

- Ⅰ. 調査書の学習成績（+特技に関する記録[体育]）
- Ⅱ. 一般→学力検査の得点
特色→学力検査+面接or実技検査の得点
- Ⅲ. 調査書のその他の記載事項

基本的にはⅠ+Ⅱの合計が高い順に合格としますが、各校でⅢのうち重視する項目を決定し、その評価を加えて合格を決定できる枠(合格人数枠)を設けることができます。

※学力検査及び調査書の学習成績は各校で加重配点を行うことができます。